

多摩部 19 都市計画

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（原案）

令和 2 年 5 月
東 京 都

昭島都市 計画区域	<p>のある市街地を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 立川基地跡地昭島地区では、国等の広域的な機能及び業務・商業・交流・居住機能などの導入が進み、にぎわいと活気があふれ、国営昭和記念公園の緑の活用や、一体的な公園・緑地、公共施設及び環境保全用地の整備により、環境や景観に配慮された、質の高い都市空間を形成 立川市役所周辺地域の立川基地跡地西側地区では、広域防災基地や国営昭和記念公園などの周辺環境を踏まえ、運動公園などの公共施設の整備が進展 立川市役所周辺地域の砂川中央地区では、国有地の活用が進み既存の住宅地との調和が図られながら、低層住宅を中心としたみどり豊かな住環境を形成 立川市役所周辺地域の立川基地跡地東側地区及び富士見町地域は、市街地整備の見通しが明らかになった段階で、市街化調整区域から市街化区域に編入し、計画的に市街地を形成 立飛駅周辺の大規模な民有地では、周辺の住環境に配慮した市街地を形成 多摩川、玉川上水、農地、公園や緑地などと調和し、安らぎを感じることのできる、質の高い緑豊かな住環境を形成
	<p>(西武立川)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北口周辺では、駅北口の開設などを契機に基盤整備を行い、保全された農地と住宅地とが調和したゆとりある日常生活を支える生活の中心地を形成 南口周辺では、玉川上水と連携した水と緑のネットワークを形成し、みどり豊かで潤いのある快適な住環境を形成するとともに、日常生活を支える商業機能等の導入、活用により、利便性の高い生活の中心地を形成
立川都市 計画区域 ・ 福生都市 計画区域	<p>(新青梅街道沿道)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新青梅街道の拡幅等により、交通ネットワークの強化が図られ、交通利便性が向上するとともに、沿道において商業や業務などの立地が進み、利便性の高い良好な住宅市街地を形成 大規模な都営住宅団地等の建替えが進み、生活利便機能の整った良好な住環境を形成 <p>(狭山丘陵～多摩湖)</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭山丘陵の広大なみどりと多摩湖の水辺空間を生かした水と緑のネットワークにより、良好な市街地を形成 公園・緑地や街路樹の整備推進と合わせ、民間の協力を得て、みどりの拡充や質の向上を促進 <p>(産業と住宅と自然が調和する地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業の大規模な工場や研究所、国の研究機関、大学などの集積と連携が進み、地域内や他地域との交流が活性化され、多様なイノベーションが

立川都市計画区域 ・ 福生都市計画区域	<p>創出され続ける地域を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の形態に応じた適切な立地が進み、産業と居住や自然が調和した活力のあるまちを形成 ・都市計画道路の整備により、交通渋滞が緩和されるとともに、防災性や安全性の高いまちを形成
青梅都市計画区域	<p>〔青梅〕</p> <p>○青梅、東青梅、河辺の各駅周辺地区では、中心市街地として、商業・業務、文化、サービス機能などが集積し、相互に連携・分担した中核的な拠点を形成</p> <p>○各駅をつなぐ東西方向の市街地では、生活環境と調和した業務・商業施設が集積し、複合市街地を形成</p> <p>（青梅）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい、歩いて楽しい快適な歩行者空間が確保され、旧青梅宿を中心に、歴史と文化などの地域資源を生かした魅力ある観光のまちを形成 <p>（東青梅）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活を支える公共・公益サービスを担う官民の施設が集積し、大規模公有地などを活用した業務・文化・交流機能の充実したまちを形成 <p>（河辺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の総合的な生活支援機能を中心とした、業務、商業、文化、交流、医療などの複合的な機能が集積した活力あるまちを形成
	<p>（黒沢）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採石場跡地では、市街地と近接した立地条件を生かし、雇用を創出する新たな産業を含めた産業集積地を形成 ・市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、計画的に市街地を形成
	<p>（青梅インターチェンジ周辺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の工業団地の産業振興やインターチェンジ北側地区の市街地整備により、広域交通ネットワークを生かした産業拠点を形成 ・インターチェンジ周辺では、自然環境に十分配慮しながら、流通業務機能などが集積する拠点を形成 ・市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、計画的に市街地を形成
	<p>（多摩川沿い地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青梅・長淵・河辺地区では、既存の市立美術館や郷土博物館、文教施設との連携や、多摩川の河川敷などを活用した自然学習体験機能の導入などにより、文化・芸術活動の拠点を形成

福生都市 計画区域	<p>にぎわいのある都市空間を創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽村駅西口周辺では、土地区画整理事業による交通広場、都市計画道路、公園などの整備により、安全性、快適性及び利便性が向上し、商業機能が集積した市の玄関口としてふさわしい駅前市街地を形成 ・小作駅周辺地域では、ペDESTリアンデッキなど既存のインフラによる高い回遊性を生かし、商業拠点として、また工業団地への窓口として、にぎわいのある都市空間を創出 ・小作駅西口地域では、多摩川に近接したみどりの多い環境を生かし、景観に配慮した良好な住環境を形成
	<p>(殿ヶ谷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路である新青梅街道の整備状況に合わせ、沿道用途地域の見直しや地区計画、緑化などを考慮した広がりや厚みのあるみどりの形成が図られるとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、日常生活やサービスの中心地として機能できるよう、商業・業務などの利便施設などの集積が図られ、交通の利便性を生かした土地利用や快適な生活の中心地を形成 <p>(箱根ヶ崎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱根ヶ崎駅周辺では、交通広場や都市計画道路などの都市基盤整備により、交通ターミナル機能の拡充がなされるとともに、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を見据えた商業・業務施設の整備・集約化により、人、交通及び情報が集まり、景観的にも美しい町の表玄関としての生活の中心地を形成
	<p>(武蔵地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩モノレール箱根ヶ崎方面延伸等交通アクセスの充実を見据えつつ、既存工業団地と一体的な産業拠点を形成 ・市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、市街地を形成
	<p>(栗原地区・西平地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備の見通しが明らかになった段階で農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、土地区画整理事業により新市街地を計画的に形成
	<p>(多摩川沿い地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡玉川上水、羽村取水所、郷土博物館などの歴史・文化資源や、都立草花丘陵自然公園、多摩川、玉川上水などの自然環境を活用したレクリエーション機能、自然学習体験機能の導入などにより生涯学習活動の拠点を形成
多摩都市 計画区域	<p>〔多摩ニュータウン〕</p> <p>○みどり豊かで高質な住環境、リニア中央新幹線駅へのアクセス利便性、大</p>